

音小だより

学校 = 家庭 = 地域をつなぐ架け橋

いつかのために活かされる避難訓練

校長 中嶋 利啓

私は深川駅すぐ横の跨線橋から正面に見える音江山の景色が大好きなのですが、年明けに見た新雪を身にまとい夕日を浴びてオレンジ色に染まる音江連山の美しさには、神々しささえ感じました。保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

25日間の冬休みが終わり、1月17日から後期の残り半分（後半）がスタートしました。冬休み中はたくさん雪が降る日もありましたが、割合穏やかな日が多かったので、子供たちはスキーの練習をしたり、親戚などたくさんの人に出会ったりして楽しい冬休みを過ごせたようです。

さて、冬休み明けの全校集会で子供たちにもお話ししたのですが、1月1日の夕刻に発生した石川県を中心とする能登半島地震は、（私もその瞬間をテレビの臨時ニュースで見いていたのですが）新年早々から大きな衝撃を受けるものでした。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在も被害の様子や避難状況などが連日のように報道されていますが、中でも里帰り中に震災に巻き込まれて亡くなった小学生がいることや校舎が壊れたり避難所になっていたりして自分の学校へ通えない子供が多数いること、親元を離れる決断をして集団避難をする中学生がいることなど子供たちも不自由な生活を余儀なくされていることには心が痛みます。そうした中で音江小学校では全校児童が大きなけがや事故もなく元気にそろったことを、当たり前ではなくありがたく思わなければならないですね、という話をしました。

また、日本は地震の多い国である以上、いつ私たちの身近で大きな地震が起きてもおかしくありません。いざという時に慌てることがないように、避難訓練で学んだことを落ち着いて行動に移せるようにしましょうとも話しました。

震災報道の中に、地震と津波で壊滅的な被害を受けた石川県珠洲市のある地区の住民が、大半が高齢者であったものの住民同士で協力し、5分以内に高台に避難して全員無事だったという記事を見つけました。この地区では東日本大震災をきっかけに毎年避難訓練を行っていて、住民たちは全員が無事に避難できたことを「奇跡」ではなく「訓練が活かされた」と語っているそうです。

本校でも季節ごとに様々な訓練を行っていますが、先日、冬休み前から延期されていた避難訓練を行い、地震とその後発生した火災から素早く安全に避難する方法を確かめました。休み時間の予告なしの訓練でしたので、突然鳴ったサイレンに声をあげたりウロウロしてしまったりする子がいましたが、高学年の子供たちが声をかけてくれるなどしてすぐに落ち着き、短時間で安全に校舎前へ集合することができました。地震は台風や暴風雪とちがっていつ発生するか予測することは困難です。そのためにも毎回の避難訓練に真剣に臨み、繰り返し学んだことをしっかり身に付けて、いつか起きるかも知れない震災に備えてもらいたいと思っています。ご家庭でも今回の震災を機に家族で話し合うこともあったことと思いますが、離れ離れで震災にあった時の約束事など、普段から話し合っておくことをおすすめします。

終わりに、後期の後半はそれぞれの学年のまとめを行う大切な期間です。子供たちがそれぞれの学年で身に付けたことを自信に次の学年へ希望と期待をもって進級できるよう、丁寧に指導してまいりますので、今年もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大谷選手からグローブが届きました 子ども達も積極的に手に取って使っています！

2月 行事予定



日	曜	給食	行 事
1	木	○	人権教室（1年生）
2	金	○	新一年生一日入学 児童会選挙告示
3	土		
4	日		
5	月	○	音江うんどろクラブ（3～6年）
6	火	○	【特別日課】全校朝会 放課後教室
7	水	○	委員会⑩ らんらん号（1・2年）
8	木	○	5・6年PTAレク
9	金		スキー学習 全校5時間授業
10	土		
11	日		建国記念の日
12	月		振替休日
13	火	○	選挙活動（～16日）
14	水	○	音江うんどろクラブ（3～6年）
15	木		スキー学習 全校5時間授業 PTA運営評議員会
16	金	○	
17	土		
18	日		
19	月	○	前期児童会選挙・立会演説会
20	火	○	読み聞かせ（1・2年） 深川小との交流会（6年）
21	水	○	らんらん号（3～6年） 音江うんどろクラブ（1・2年）
22	木	○	
23	金		天皇誕生日
24	土		
25	日		
26	月	○	校内書道展（～3/4） 音江うんどろクラブ（1・2年）
27	火	○	参観日・懇談会（1・2年） 読み聞かせ（3～6年）
28	水	○	参観日・懇談会（3・4年）
29	木	○	参観日・懇談会（5・6年）

メジャーリーガー大谷選手から、待望のグローブセットが届きました。早速冬休み明けの集会の中で中嶋校長から紹介があり、その後、各学級で実際にグローブを付けキャッチボールをする等、グローブとの出会いを楽しみました。

現在は、各学級でのお披露目が終わり、下写真のように展示をしています。今年度いっぱい展示を続けますので、ご来校の際にぜひご覧ください。（雪解け時期がきたら、積極的に屋外で使ってもらいます。）



冬休み明けも子ども達の力作が並びました 全校児童の冬休みの自由研究を展示しています。

25日間の冬休みが終わり、後期後半の学校生活が始まってから2週間程が経ちました。各学級では、「作品発表会」を行い、各自の作品を紹介し合いました。休み期間を利用して作成した作品は、工作・自由研究とどれも素晴らしく、一人ひとりが自慢の作品を自信をもって発表することができたようです。

発表会の後は、全校児童の作品を教室前に展示しています。各学年の力作を眺めたり、作品を手に取り感激の言葉を述べたりする姿が見られました。

互いの作品の鑑賞を通して、これから友達の作品も大切に、お互いのがんばりを認め合う関係を築くことを期待しています。



チャレンジ深川(冬)を終えて 12/25～12/28 冬休み中の学習習慣は身に付いたかな？

このたびの冬休みも、4日間の日程でチャレンジ深川を実施しました。

事前申し込みをした25名の子ども達は、チャレンジ深川のドリルを活用し、学校で習った学習をしっかりと振り返るとともに、冬休み中の学習習慣を身に付けることが出来たようです。

期間中は深川西校の生徒の皆さん、地域の採点ボランティアの皆さんにご協力をいただきました。誠にありがとうございました。次年度のチャレンジ深川でもお力添えをお願いいたします。



今月読み聞かせた本のタイトル

1年：おもちのかみさま、きらきら、やさいのおなか
2年：あいつともだち
3～6年：今月は「読み聞かせ」がありませんでした。

★ 学級担任変更に関わるお知らせ ★

本校1年生担任、大野すい教諭の産前・産後休暇・育児休暇取得を受けて、担任代行を務めていた教頭に代わり、2月より、本田義博教諭が1年生担任を務めることとなりました。

今年度残り2カ月の期間となりましたが、1年生の子ども達の学校生活を充実したものとし、一人ひとりが確実な成長を遂げられるよう精一杯努めてまいります。保護者の皆様のご理解と更なるご協力をお願いいたします。

音小事務だより

深川市立音江小学校

令和6年(2024年)1月31日 発行

【令和5年度 第10号】

深川市立音江小学校 校長 中嶋利啓
事務職員 加藤俊秀

改めまして、本年もよろしくお願いいたします。

正月明けの大雪もあり、深川市もまだまだ厳しい寒さと雪の日々が続いておりますが、子ども達は元気に学校生活を過ごしております。6年生は、音江小学校での生活も残り2ヵ月弱となりました。深川小学校の6年生との交流など忙しい日々が続きますが、たくさんの楽しい思い出を作って欲しいと願っております。

今月は、新書の入荷とバス助成、スキー授業についてお知らせいたします。



～新書の入荷について～



冬休み中に後期の新書が入荷しました。文化委員が図書ホールに配置してくれて冬休み明けから順次貸し出しを開始しております。

今年度は、文化委員が中心となり図書のアンケートを頑張り、子ども達が見たい素晴らしい本をたくさん購入することが出来ました。

人気の有る本は貸し出し中ですのですぐに借りる事が出来ないかもしれませんが、諦めずに図書ホールへ通っていただき、冬の間に読書の習慣を身につけて欲しいと図書担当の先生も願っております。



～児童バス通学助成について～

8月の事務だよりでもお知らせしました、児童バス通学助成について再度ご案内いたします。

児童の通学時の安全確保のため、定期券を購入して路線バスを利用したご家庭へ購入代金の一部(2分の1)を深川市より助成しております。

音江小学校の助成対象条件は、下記の通りです。



- 路線バスの定期券を受け取っていない方
- 特別支援教育就学奨励費補助金を受けていない方
- 学校から自宅までの通学距離が往復4km以上で遠距離通学補助を受けていない方

※助成の対象でまだ手続きをされていないご家庭は、お早めに学校まで提出ください。

～スキー授業のリフト利用料について～



今年度の音江小学校のスキー授業は、2月9日(金)と2月15日(木)の2回を予定しております。

リフト利用料の金額や集金方法については、各学年のお便りから案内されますので、ご確認ください。

尚、特別支援就学奨励費や就学援助費を受給している家庭の方は、負担軽減措置があります。(不明点は、音江小学校事務までご連絡ください)



新書の紹介写真はごく一部です。購入新書の内容は、新しい絵本や話題作の文庫本、大谷翔平に関する書籍やスポーツの年鑑など、低学年から高学年まで満足できるラインナップが揃いました。

ご家庭でも声掛けしていただき、たくさんの本を読んで欲しいと思います。